

日本政府に核兵器禁止条約の調印を迫ろう

国連軍縮週間行動にご参加を！

核兵器禁止条約 調印73カ国・批准32カ国

県知事・28市長12町長が賛同

国連に届けます。世界中で取り組んでいます。
私たちが賛同しています。あなたも、ぜひご署名ください。

**ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える
核兵器廃絶国際署名**

兵庫県原水爆被害者団体協議会
〒657-0092 神戸市灘区福地1丁目2番24号 TEL:078-281-4229

神戸市原水爆被害者の会、石川県原水爆被害者の会、四国市原水爆被害者の会、
高松市原水爆被害者の会、伊予市原水爆被害者の会、富山県原水爆被害者の会、
丹波市原水爆被害者の会、福井県原水爆被害者の会、高松市原水爆被害者の会、
加古川市原水爆被害者の会、淡路市原水爆被害者の会、姫路市原水爆被害者の会、
太子市原水爆被害者の会、豊前市原水爆被害者の会、兵庫県被爆二世の会

顔写真入りで署名を呼びかけ

☆兵庫県知事はじめ神戸市長、西宮市、姫路市など28市長（29市中）、12全町長が賛同し、県民全体に署名の協力を呼びかける顔写真入り「意見広告ポスター」「署名用紙」も作成。署名は全国で1000万を超え、日本政府に禁止条約調印を求める自治体意見書も422自治体に達しました（兵庫県は高砂市、川西市、芦屋市、播磨町）。

☆国連軍縮週間とは☆

一九七八年五月、国連は初めて軍縮特別総会（SSDI）を開催。特別総会は、非同盟諸国や世界の反核・平和の世論に支えられ、核兵器廃絶と全面軍縮をめざすことを決め、成功のうちに終了。その中で、反核・平和の世界の世論を集めることの重要性が訴えられ、国連創設の日である十月二十四日から一週間を「軍縮週間」と決め、全世界的な平和行動を呼びかけた。

兵庫県が後援！ 主催：兵庫県被団協

ヒバクシャ国際署名推進のつどい

☆10月24日 14時・神戸市勤労会館多目的ホール
☆講演：林田光弘さん（ヒバクシャ国際署名連絡会）
☆活動交流：新婦人県本部、高砂市署名をすすめる会、創価学会、西宮市（要請中）など署名運動の交流を行います。芦屋市長も出席。
2020年へ思想信条、政治的立場越えて署名広げ国連に届けます。

ヒバクシャ国際署名 10,517,872人

に到達（9月末現在）

兵庫県は30万を突破！

10月の国連総会に提出します。

10月24日（木）正午～13時・神戸大丸前

原水爆禁止兵庫県協議会（略称：兵庫県原水協）